



二年学級新聞



25年5月1日
発行 田所 正
2学年 5月号

ようこそ、新入生のみなさん



新入生と職員

第6回入学式を4月13日、来賓・保護者の皆さまのご参加いただき、盛大に挙行することができました。

印象的なワードとしては、校長式辞の中で、「今日から皆さんは身内と同様です」というメッセージです。それだけ全校生徒の皆さんを尊重していきますという表明でした。

新2・3年生も新入生を歓迎するため多くの人に参加してくれました。今後は、2年生も先輩という立場になり後輩たちを様々な活動でリードしていくこととなるでしょう。

目には青葉 山ほととぎす 初鰹



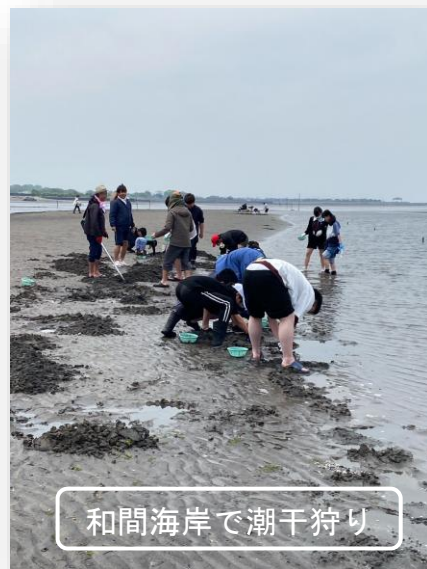
上記の俳句はこの季節にピッタリの表現です。
江戸時代前期に活躍した山口素堂の作品です。

現代語にすると
目には初夏の青葉がさわやかに映り、耳にはホトトギスのさわやかな声が届き、口では初物の鰹を味わえる素晴らしい季節

みなさんも、新しい学年となり新鮮な気持ちでこの季節を過ごしていることでしょう。
爽やかな風の中、あなたはどんなことにチャレンジしていくでしょうか。

新緑を眺める 野鳥のさえずり 美味しい食べ物

まわりの景色・食を楽しもうと気持ちは、とても大切なことです。



和間海岸で潮干狩り

新顔です、よろしくお願いします

- 1 名前 田所 正
- 2 これまで何をしていたか
中学校で数学を教えていました
この3月まで中学校の校長でした
- 3 なぜこの学校へ
この学校に魅力を感じ希望しました
- 4 自分の時間の過ごし方
ピアノ（習っています）
読書（週に1冊目標）
野菜づくり（今から夏野菜の季節）
運動（ウォーキング・自転車・登山）
- 5 好きな言葉 一期一会



久住山、山頂